



平成22年2月12日

各 位

オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 近藤 宜彰  
(コード番号 6819)  
問い合わせ先  
専務取締役 村上 東 哲  
電話番号 03-3493-3080

## 特別損益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年2月12日開催の取締役会において、下記のとおり特別損益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成21年11月11日に発表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の通期業績予想（連結・個別）を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の発生について

##### (1) 新株予約権戻入益【連結・個別】

当社役員及び従業員に対して発行しておりましたストック・オプション（新株予約権）につきまして、権利保有者の失権（退職）に伴い、新株予約権発行時に計上した発行価額の戻し入れにより、新株予約権戻入益として26百万円を計上いたします。

##### (2) 債務免除益【連結・個別】

当社グループ取引先からの債務のうち、債権放棄に伴う債務免除益として15百万円を計上いたします。

##### (3) 投資損失引当金戻入益【連結】

今期において、株式の評価損を投資損失引当金として計上しておりましたが、評価の見直しにより、引当金の戻入処理をすることとし、投資損失引当金戻入益として、39百万円を計上いたします。

これらの影響により、個別で42百万円、連結で82百万円を特別利益として計上いたします。

#### 2. 特別損失の発生について

##### (1) 貸倒引当金繰入損【連結・個別】

当社取引先への債務の回収可能性について厳密に精査した結果、相手先の業績悪化等を勘案し、貸倒引当金繰入損として個別で3百万円、連結で12百万円を計上いたします。

##### (2) 有価証券評価損【連結】

当社保有の有価証券につきまして、株券発行会社の業績悪化等を勘案し、転換社債の回収可能性について厳密に精査した結果、有価証券評価損として3百万円を計上いたします。

##### (3) 投資有価証券評価損【連結・個別】

当社保有の有価証券及び転換社債の回収可能性について、株券発行会社の業績悪化等を勘案し、厳密に精査した結果、投資有価証券評価損を個別で22万円、連結で6百万円計上いたします。

これらの影響により、個別で4百万円、連結で23百万円を特別損失として計上いたします。

### 3. 連結業績予想の修正

(1) 通期累計期間（平成21年4月1日～平成22年3月31日）（単位：百万円）

|                     | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益  |
|---------------------|-------|------|------|--------|
| 前回予想（A）             | 3,100 | △50  | △30  | △71    |
| 今回修正（B）             | 3,000 | △195 | △165 | △150   |
| 増減額（B－A）            | △100  | △145 | △135 | △79    |
| 増減率（%）              | △3.2  | —    | —    | —      |
| （ご参考）<br>平成21年3月期実績 | 3,079 | △597 | △522 | △1,772 |

#### (2) 修正理由

通期の業績予想につきましては、第3四半期のレジャー事業において、新型インフルエンザの影響や、昨年12月において発生しました伊豆半島東方沖を震源とする地震の影響などにより、テーマパーク施設への入園者数は減少いたしました。今後の第4四半期以降もこの減少傾向の回復が難しくなると予想されます。

また、利益面につきましては、売上高の減少とともに、昨年同期に比べコスト体質は改善され、販売費及び一般管理費は減少しているものの、上記理由に対しての入園者数増加を目的としたレジャー施設のPR費用（広告宣伝費等）が当初見込みより増加し、営業利益は145百万円、経常利益は135百万円減少いたします。これらの要因に加え、前述1. 2に記載の特別損益の発生により、当期純利益は79百万円減少する見込みです。

### 4. 個別業績予想の修正

(1) 通期累計期間（平成21年4月1日～平成22年3月31日）（単位：百万円）

|                     | 売上高  | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益  |
|---------------------|------|------|------|--------|
| 前回予想（A）             | 250  | △140 | △110 | △210   |
| 今回修正（B）             | 230  | △140 | △110 | △171   |
| 増減額（B－A）            | △20  | 0    | 0    | 39     |
| 増減率（%）              | △8.0 | —    | —    | —      |
| （ご参考）<br>平成21年3月期実績 | 351  | △415 | △363 | △1,773 |

#### (2) 修正理由

通期の業績予想につきましては、第3四半期の業績の状況を踏まえ、引き続き厳しい経営環境となることが予想されます。売上高につきましては、従前よりも業務受託料が20百万円減少したことに伴い、売上高は20百万円減少いたします。しかしながら、当期純利益につきましては、前述1. 2に記載の特別損益の発生により、当期純利益は39百万円増加する見込みです。

※ 今回の業績予想修正値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した数値であり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以上